

3-2. 環境調査(植物)中間報告

令和4年度 植物調査内容

過年度の植物調査

R2年度

- ・既設道路法面の在来種生育状況を確認
➡法面緑化候補種を15種選定し、うち14種の種子を採取
- ・採取種子発芽調査➡13種の発芽を確認

R3年度

- ・在来種導入候補種賦存量調査
➡導入候補種5種を選定
- ・外来種侵入状況調査
➡外来種22種、アメリカオニアザミ増加を確認

＜草本＞クサヨシ、オオヨモギ、アキタブキ
＜木本＞ホザキナナカマド、ホザキシモツケ

今年度の植物調査

1. 外来種侵入状況調査(R3から継続調査)

2. 在来種の現地播種調査(R3に選定した導入候補種の草本3種による)

令和4年度 モアショロ原野螺湾足寄停車場線
モアショロ原野地区の環境影響に関する 第1回ワークショップ

1. 外来種侵入状況調査（6月、8月、9月の3回実施）

1-1. 侵入外来種の確認

- ・令和2年の夏季に伐採された民地の範囲を踏査し、改変直後に侵入する外来種を記録

1-2. 群落組成調査

- ・既伐採範囲に5m×5mの調査区を設定
- ・ブラウン-ブランケの全推定法（被度・群度により植物群落の状態を知る方法）により侵入している外来種を含む全種の被度・群度を確認

被 度		群 度	
5	被度がコドラート面積の3/4以上を占めているもの	5	調査区内にカーペット状に一面に生育しているもの
4	被度がコドラート面積の1/2～3/4を占めているもの	4	大きなまだら状または、カーペット状のあちこちに穴があいているような状態のもの
3	被度がコドラート面積の1/4～1/2を占めているもの	3	小群のまだら状のもの
2	個体数が極めて多いか、または少なくとも被度が1/10～1/4を占めているもの	2	小群をなしているもの
1	個体数は多いが、被度が1/20以下、または被度が1/10以下で個体数が少ないもの	1	単独で生えているもの
+	個体数も少なく、被度も少ないもの		

令和4年度 モアショロ原野螺湾足寄停車場線 モアショロ原野地区の環境影響に関する 第1回ワークショップ

1. 外来種侵入状況調査

